

研究課題名

切除不能・再発膵腺扁平上皮癌に対する化学療法の治療成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究

研究対象

2001年4月～2017年12月の間に切除不能もしくは再発膵腺扁平上皮癌に対し初回化学療法（化学放射線療法を含む）を開始した患者さんを対象とします。

研究の意義・目的

切除不能・再発膵腺扁平上皮癌の治療成績を明らかにすることで、本疾患に対する有効な治療法を同定し、実際の診療に役立たせる事を目的として本研究を行います。

膵腺扁平上皮癌に対する化学療法の治療成績に関する報告は少なく、膵腺癌に対する現在の標準治療であるFOLFIRINOX（5-FU+オキサリプラチン+イリノテカン）療法やゲムシタビン+ナブパクリタキセル療法の本疾患に対する治療成績に関してはまとまった報告はなく、参考となるデータがほとんどないのが現状です。また、膵腺扁平上皮癌は稀な疾患であるため、一つの施設での症例集積には限界があります。本研究により、多施設で切除不能・再発膵腺扁平上皮癌に対する化学療法を受けた患者さんのデータをまとめて治療成績を明らかにすることは、本疾患の患者さんに対する治療選択の一助になる可能性があります。

研究機関

杏林大学医学部付属病院を含む多施設共同研究

方法

本調査研究に対象となる患者さんのカルテを調査し、年齢、性別、病理診断、血液検査所見、治療方法、有効性など必要なデータを記録します。本研究は日本全国の膵がん治療の専門病院やがん診療拠点病院を中心に必要な患者さんの診療録の情報を研究事務局に収集する形式で行われ、沖縄県立中部病院の医師が研究事務局を担当しています。

プライバシーの保護と個人情報の取り扱いについて

本研究に関連するすべての情報は、研究の為にだけに用いられ、すべての個人情報は秘密厳守で取り扱います。調査対象患者さんの氏名及び個人を特定する情報は本研究の結果報告ならびに学会発表等には一切使用しません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申して出てください。

※この研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先へご連絡ください。

《問い合わせ先》

研究機関名：杏林大学医学部附属病院 腫瘍内科

住 所：三鷹市新川 6-20-2

電 話：0422-47-5511（代表）

担当者(研究責任者)：岡野 尚弘